

令和7年度上大久保中学校だより

上中だより

第6号

令和7年9月26日(金)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

「応援の力」

校長 ^{たかく}高久 ^{まさゆき}正行

「暑さ寒さも彼岸まで」とは、夏の暑さも冬の寒さも、春分や秋分の日のある彼岸頃になると和らいで過ごしやすくなる、という季節の移り変わりを表すことわざです。日中の日差しが強く気温の高い日もありますが、朝晩の空気は少しずつ秋の訪れを感じさせるようになってきました。とはいえ、日中の暑さは、今年の7・8月の暑さに比べれば過ごしやすくなっていますが、本来のこの時季の気温と比べればやはり暑いというのが現状だと思います。ここ数年の状況から、確実に夏が長く、秋が短くなっているのは間違いないのかもしれませんが、これから季節の変わり目を迎えるに当たり、毎日の体調管理は常に意識したいものですね。

さて、9月24日から陸上競技を皮切りに、「さいたま市新人体育大会」が始まりました。学校総合体育大会が終わってから約4か月余り、1・2年生を中心に練習に励んできました。新チームとなって迎える公式戦となりますが、ぜひ自分を信じ、仲間を信じて全力プレーができることを願っています。9月19日(金)の朝礼では「壮行会」を行い、各部の部長から頼もしい抱負が語られました。生徒会長の激励の言葉に続き、ここ数年恒例となっている有志による「応援エール」も行われました。第3号でも触れましたが、毎回個性あふれる「応援エール」は、出場する生徒にとって勇気づけられるものになっていると感じています。私からは、東京世界陸上を見て感じたことを話しました。世界陸上は、オリンピック以上に参加条件が厳しく、本当の意味でのトップアスリートが「走る・投げる・跳ぶ」姿を見せてくれました。カメラワークも工夫されており、テレビの画面を通してでも臨場感が伝わってきて、極限まで鍛え上げた選手のパフォーマンスに目が離せなくなった人も多かったのではないのでしょうか。選手紹介の際のカメラを意識した選手一人ひとりの自信あふれる自己アピールも話題となっていました。(日本のアニメポーズが話題になるのも嬉しいです!)中でも、観客の応援については、どの選手も「勇気づけられた」「力になった」という発言をしていたのがとても印象に残りました。今回の大会には、4年前の東京オリンピックに出場した選手も多かったようで、無観客だったその時と今大会の違いを述べている報道を多く耳にしました。特に、「機会を取り戻す・回復する」という意味の「Redemption」という言葉が多く聞かれたそうです。おそらく日本はコロナから回復したという意味になるのだと思います。また、今回の大会には、聴覚に障害のあるデフ選手、湯上 剛輝選手が男子円盤投げに出場していたそうです。(日本のデフ選手が健常者の世界選手権に出場するのは初めて。)最後の3投目の直前、観客席に手拍子を求め、「応援を肌で感じた」という記事も読みました。日本人選手が出場するときの歓声はさることながら、どの選手に対しても温かい声援を送る観客の姿はこれからのどのスポーツの大会にも良い影響を与えていると思います。実際に大会に出場する選手には大きな不安が付きまとうかもしれませんが、それを跳ねのけてくれるのが「応援」です。大会会場にいなくても、様々な形で応援をすることができると考えていますので、ぜひ新人戦での上中生の活躍に応援をお願いします。

10月は、新人戦が終わると、中間テスト、市駅伝競走大会、そして体育祭と並び大きな学校行事でもある合唱コンクールが控えています。仲間同士が声を掛け合い励まし合いながら絆をつなぐ、またハーモニーを奏でるこれらのイベントはとても大切なものだと考えています。生徒の皆さんの活躍に大いに期待しています。また、3年生は進路親子保護者会があり、入試に向けた具体的な説明が行われます。7組は、ふれあい夢ファームと校外学習が予定されています。1・2年生も校外学習や未来くるワークに向けた準備が大詰めを迎えることになります。月末には、小学6年生に向けての「つばみの日」もあります。行事でいっぱい10月となりますが、生徒の活動により、学校全体が活気に満ち溢れてくる時でもあります。保護者、地域の皆さまには、ぜひこれらの行事に取り組む生徒たちへの励ましと応援を通して、温かい目で見守っていただけたら幸いです。



新人戦壮行会

さいたま市体育大会観戦時の応援者のマナーについて (9/19 発出の「学校安心メール」と同内容)

- ①会場へは、公共の交通機関をご利用ください。(原則、保護者用駐車場はございませんが、会場ごとに駐車場規程がございますので、必ず事前に顧問へ確認ください。)
- ②ゴミは、各自で必ずお持ち帰りください。
- ③応援の場所については、大会本部、顧問の指示にしたがってください。また、応援のマナー違反(大会本部や審判・相手選手等に対する抗議)は、大会運営の妨げになりますので、厳に慎みくださいますようお願い申し上げます。

なお、ご協力いただけない場合、さいたま市中学校体育連盟からは、「運営主管が、発生した事案に対して関係機関と連携することもある」との連絡がきておりますので、ご注意ください。